

# Takamatsu Contemporary Art Annual vol.12

## The Contour of Me

高松コンテンポラリーアート・アニニユアル Vol.12  
わたしのりんかく



2025年2月1日(土) — 3月16日(日)  
Saturday, February 1 – Sunday, March 16, 2025



横山翔平 | *YOKOYAMA Shohei*

國久真有 | *KUNIHISA Mayu*

矢野恵利子 | *YANO Eriko*

新宅加奈子 | *SHINTAKU Kanako*

山下麻衣+小林直人 | *YAMASHITA Mai + KOBAYASHI Naoto*

休館日:月曜日(ただし、2月24日(月・振休)開館、2月25日(火)休館)

開館時間:9:30~17:00(ただし、金曜日・土曜日は19:00閉館/入室は閉館30分前まで)

入場料:一般1,000円(800円)、大学生500円(400円)、高校生以下無料

※○内は20名以上の団体料金

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者(または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示)は入場無料

主催:高松市美術館 助成:一般財団法人自治総合センター、公益財団法人朝日新聞文化財団、**NOMURA 野村財団**

協力:A Lighthouse called Kanata, Takuro Someya Contemporary Art



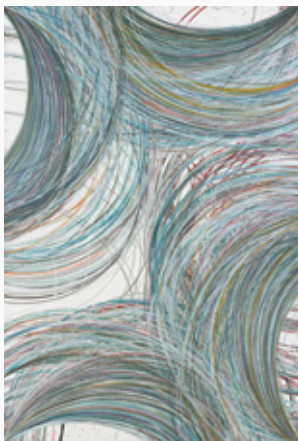
横山翔平《Amorphous 21-1》2021年



山下麻衣+小林直人《世界はどうしてこんなに美しいんだ》2019年（瀬戸内国際芸術祭2019での展示風景）Courtesy of the Artists and Takuro Someya Contemporary Art



新宅加奈子《I'm still alive》2019年 photo by Nobutada Omote / Sandwich



國久真有《WIT-WIT BLUE WAVE》2021年 photo by Shigefumi Kato



矢野恵利子《Ninoshima》2023年 photo by Mutsumi Tomosada

表上：山下麻衣+小林直人《発芽を待つ》2002年  
 Courtesy of the Artists and Takuro Someya Contemporary Art  
 表下：矢野恵利子《Classified》2023年 photo by Nozomi Tomoeda  
 Courtesy of Art Gallery Miyauchi

独自性のある優れた作家を紹介する「高松コンテンポラリーアート・アニュアル」。vol.12となる今回は「わたしのりんかく」をテーマに6名（4名+1ユニット）の作家を紹介します。

私をなぞる輪郭は私と他を隔てるものにもなりますが、それはどこに、どのような形であるのでしょうか。役どころや肩書によって自分を表すことは比較的容易であり、それは明確に引かれた太い輪郭線に感じられるかもしれませんが、しかし、それらは環境によって変化し、逆転することもしばしばです。身体に目を向けても、どこまでが私と言えるのか、輪郭がいかに曖昧であるかに気づきます。

熱したガラスに息を吹き込んだり、身体を大きく使って練ったりすることでダイナミックな作品を生み出す横山翔平（1985年岡山県生まれ）の作品は、彼の思考や身体を映し出しており、生命を内包しているような印象を与えます。弧線を重ねた絵画を展開する國久真有（1983年大阪府生まれ）が描く線は、彼女の動きの軌跡です。たびたび画面の中央に現れる空白は身体的な限界を示すとともに、人が侵すことのできない領域のようでもあります。日常で生じる感情から作品を立ち上げる矢野恵利子（1987年香川県生まれ）は、作品にあそびの要素を含ませることで、さまざまな感情をユーモラスに可視化します。身体に絵具を垂らすことで、自分が「今ここにいる」感覚を確認するという新宅加奈子（1994年大分県生まれ）は、絵具が肌の上で刻々と変化する間、それを感じ取る自身の存在を認めているのでしょうか。自然や動物など他者と向き合う山下麻衣+小林直人（1976年千葉県生まれ、1974年千葉県生まれ）が行う行為は一見無意味にも思えますが、繰り返し継続される行為を目撃するうちに、自分と世界との関係がわずかに変化する気配を感じさせます。

刹那にとらえる輪郭は儂いものですが、それゆえの美しさや力強さを見出すこともできるでしょう。

## 関連イベント

- ・アーティスト・トーク | 無料・申込不要  
 出品作家が自身の作品や制作について、トークします。  
 2月1日(土) 13:00～15:30(12:45開場) / 出演: 全出品作家 / 会場: 1階講堂 / 定員: 100名
- ・新宅加奈子: ライブパフォーマンス | 要観覧券・申込不要  
 新宅加奈子が作品制作を行います。  
 2月1日(土) 16:30～18:30 / 会場: 2階展示室
- ・國久真有: ライブペインティング | 無料・申込不要  
 國久真有が作品制作を行います。  
 2月1日(土)～2月11日(火・祝) / 会場: 1階エントランスホール  
 ※イベント出演や休憩のため、制作を行っていない時間帯があります。目安の時間はSNS等でお知らせします。
- ・國久真有: 参加型プログラム「WIT-WIT DRAWING」 | 無料・申込不要  
 来館者が参加できる作品制作です。身体をコンパスのように駆使し弧を描く國久の手法を体験できます。それぞれの弧が重なり、新たな作品を生み出します。(作家は滞在していません)  
 会期中いつでも / 会場: 1階エントランスホール  
 対象: どなたでも(小さなお子様は保護者の方と一緒に参加ください) / 持ち物: 汚れてもよい服装でご参加ください。
- ・ギャラリートーク | 要観覧券・申込不要  
 学芸員と美術館ボランティアciviが、展覧会のみどころや展示作品について解説します。  
 学芸員: 2月2日(日) / ボランティアcivi: 会期中の日曜日(ただし、2月2日を除く)  
 各日 14:00～ / 会場: 2階展示室
- ・ミニコンサート「うたのりんかく」 | 無料・申込不要  
 2月22日(土) 13:30～14:00 / 会場: 1階エントランスホール  
 演奏者: 大山晃(バリトン)、青木香璃(箏)、大山まゆみ(ピアノ) / 定員: 70名程度
- ・ふらっとアート「わたしのりんかくをつくろう」 | 無料・申込不要  
 自分の輪郭をなぞって、作品をつくります。 / 会期中いつでも / 会場: 中2階子ども+(プラス)



## 同時開催

- ・コレクション展4 (2025/1/7～3/30)
- ・特別企画「藤安淳展 かさなるひかり」(2025/1/21～3/16)
- ・第42回日本伝統漆芸展 (2025/3/8～3/30)
- ・アート・アドバイザー講座 (2025/3/15 14:00-15:00)

## アクセス

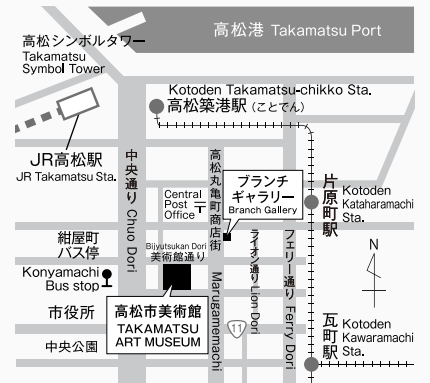
- ・JR: 高松駅下車、徒歩約15分
- ・こつでん: 瓦町駅または片原町駅下車、徒歩約10分
- ・路線バス: 紺屋町または丸亀町参番街下車、徒歩約3分
- ・高速バス: 県庁通り下車、徒歩約8分
- ・駐車場: 美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
 Tel.087-823-1711

<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/>



高松市美術館SNSぜひご覧ください。



高松市美術館  
 TAKAMATSU ART MUSEUM